

【研究概要】

胆膵領域には良悪性共に多岐にわたり、その診断は病理学的診断が行われるが、しばしば診断に苦慮する症例を経験し、病理診断以外の診断方法の確立が求められている。種々の細胞が放出する細胞外小胞と呼ばれる小粒子に含有されるタンパク質や遺伝子に着目しそれらが疾患のバイオマーカーになり得ることが報告されている。そこで本研究では胆汁中の細胞外小胞に着目し、胆汁中細胞外小胞に含有されるタンパク質や遺伝子を解析し、それらが胆膵疾患のバイオマーカーとして有用かについて検討する。